
光を拒む者の住み処

黄昏ノ闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

光を拒む者の住み処

【Nコード】

N6482F

【作者名】

黄昏ノ闇

【あらすじ】

怪物が住む屋敷にへと挑む、新手の賞金稼ぎのコンビ修斗と怜。屋敷に住む怪物を、無事に全て討伐する事が出来るのだろうか？

一ノ巻：始まり

平成XX年、ある科学者が居た。その科学者は人類の進歩という名目で、政府から多額の援助金を得て研究をしていた。

だが、科学者の屋敷から人とは思えないうめき声やいつまで経っても、計画を発表しない科学者を不信に思った政府は、科学者を捕まえて尋問した。

すると、科学者はこう言ってこの世を去った。

【研究は完成しました。その資料は、私の屋敷の地下室にて厳重に保管しております。】と。政府は、搜索隊を作り至急、科学者の屋敷に資料を探しに行かせた。

だが、屋敷から戻って来た者は誰も居なかった。隊員からの【怪物が居る！】の一言を残して…。

政府は、隊員の言葉を元に屋敷に住む怪物に懸賞金を賭けて、賞金稼ぎに怪物討伐を託した。

そして、ある二人の若い賞金稼ぎがこの屋敷に挑もうとしていた。

この二人は、若手の賞金稼ぎで【太刀の修斗&銃の怜】という通り名で、知れ渡っている。

「…で、今回のターゲットは？」

屋敷の前に立って修斗は相方である怜に今回の目的を尋ねていた。

「今回は、屋敷の中に居る怪物の討伐ですね。まずは、ゾンビの上位種【グール】。次に狼の統率者【フェンリル】。巨大昆虫の【タランチュラ&ホーネット】。…これは、はっきりとは言えませんが【ドラゴン】の計五体ですね。」

リストを見ながら、今回の内容をすらすらと読んでいくが最後の【ドラゴン】の部分だけは、怪訝そうな顔をしていた。「は？はつきり言えないって、どういう事だよ？」

「…ドラゴンだけは、誰もはっきりと見た事が無いからですよ。ただ、誰かがドラゴンのような雄叫びと姿を見た。としか、記述がありませんからね。」

お互いに、納得いかない顔をしながらも、既に視線は眼前の屋敷に集中していた。

「準備は？」

「勿論大丈夫です。」

二人は、怪物が住まう屋敷への扉を開けると二人の進入を拒む様に風が二人を襲った。だが、二人はそれに臆さずに屋敷の中へと入って行った。

二ノ巻：亡者（前書き）

続いて二話目です！ また、読んで頂き感謝です！ でも…もう、
ネタが尽きてきて焦っている今日この頃です（汗）

二ノ巻：亡者

屋敷の中に入ると同時に、鼻を突く異臭が辺りに漂っていた。

「…なあ、何か臭くねえか？」

「辺りに血痕や肉片があるから、多分グールやゾンビの腐敗臭とみて、間違いないでしょう。」

怜の言う通り、周囲にはバケツからぶちまけられたような夥しい量の血痕、まるで食い散らしたような内臓や肉がぐちゃぐちゃにされた塊などが、屋敷内に散乱していた。

ガタン

と、奥の扉が大量の人。…否、人らしき者がわらわらと出て来た。

身体中が腐り、蛆が湧き出て骨があらこちらと肉の隙間から見え、それでも尚人としての形を辛うじて保っていた【ゾンビ】は、修斗と怜の方へとゆっくりと近づいて行った。

「早速のお出迎えだな。あの中にグールは居るのか？」

「…いえ、グールはゾンビより腐敗していませんから、あの中には居ないと…。」

見るからに、ゾンビの集団の中にはグールらしき者は居なかった。そうしている間にも、ゾンビ達は修斗達の方へと距離を縮めて行った。

「さて、あつちも我慢出来ないみたいだし、ちゃっちゃとやるか？」

修斗は、腰に付けている二本の刀に手を掛けながら、そう呟いた。

「しょうがないですね、お待たせするとあちら様に迷惑をかけてしまいますからね。」

怜は、ショットガンに弾を装填しながらゾンビ達の方を見据えた。

そう言っている間にも、ゾンビ達は続々と扉から出て来て、遂には二人を取り囲む程の数へとなった。

「んじゃ、怜：行くぞっ！」

「修斗さん、了解致しましたっ！」

二人は、五十体は居るであろうゾンビ達の中へと、突っ込んで行った。

二ノ巻・亡者（後書き）

…今回は、グダグダ感たっぷりですみません…でも、途切れないように、努力はします！……多分ですが。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6482f/>

光を拒む者の住み処

2010年10月11日12時36分発行